



## K Y T について

危険

予知

訓練

K Y T (危険予知訓練・トレーニング) は、工事や製造にかかわる作業者の安全のため開発されたもので、事故や災害を未然に防ぐため、現場や写真・イラスト(図)をもとに、そこに潜む危険を予想・指摘し合う訓練です。子ども自身が安全能力を身につけ、自分自身の安全(命)を守ることを目的に、育成会(子ども会)や学校においても実施されています。

イラスト(図) = 山形県のホームページより引用 = を提示します。子どもを交えて、ご家庭で話し合ってみませんか？

Q. 自転車が、信号機のない交差点を右折しようとしています。この場面から、どのような危険が考えられるでしょうか？自転車を人や自動車に置き換えても結構です。



### (4ラウンド法)

1. 現状把握：どんな危険が潜んでいるか、問題点を指摘。
2. 本質追求：その問題点の原因についての検討。
3. 対策樹立：整理した問題点について、改善点や解決策を挙げる。
4. 目標設定：そのまとめ。情報交換を行い、共通の理解を図る。定期的に行うことによって、自分自身に考える習慣を身につけさせることも期待できる。

想定される危険を見つけ出し、子どもと一緒に考えてみましょう。通学路なども、一緒に歩いて危険箇所等を点検して下さい。



学校へ来る際は、「見守り隊の腕章」を忘れずに着用して来てください。みんなで子どもたちを守る意識を持つと共に、地域における防犯のアピールを行っていききたいと思います。忘れずにお願いします。



子どもが自転車に乗る際は、ヘルメットをかぶるようにしましょう。万一の事故の時、一番大切な頭を守るための手段の一つです。学校と連携のもと推進していきますので、保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。